

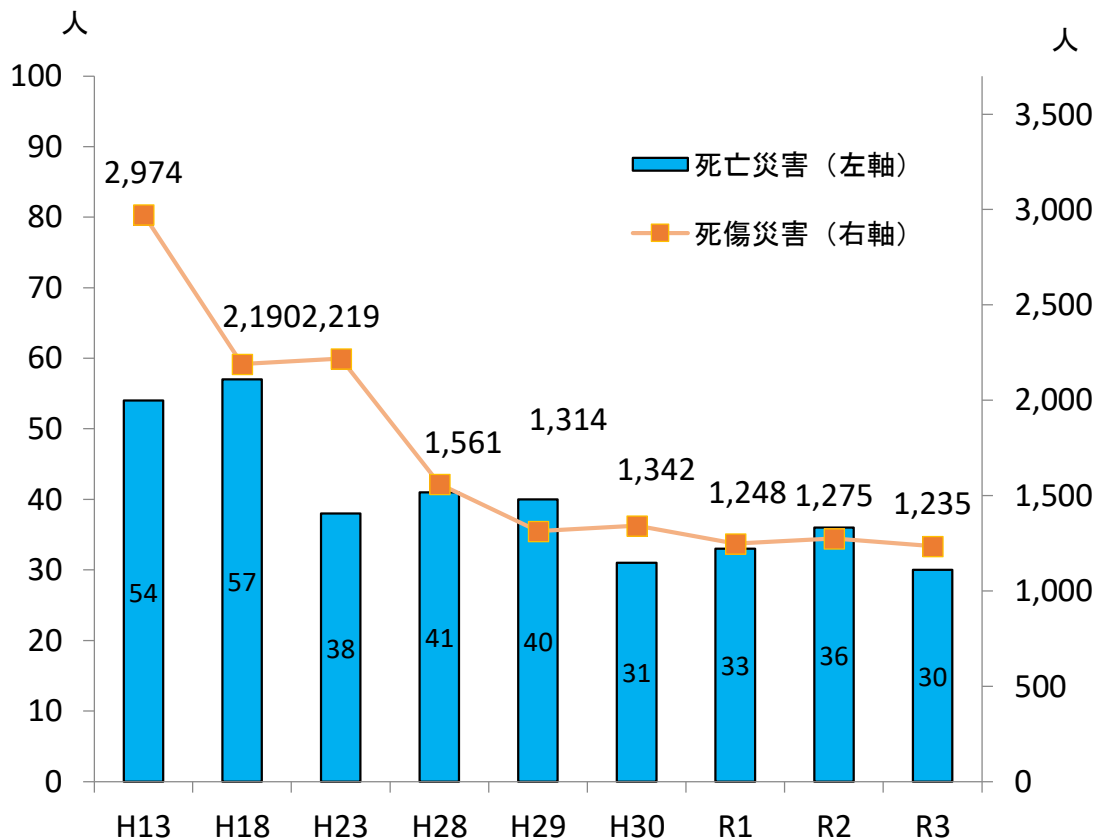
林業・木材産業労働災害の 現状について

林野庁

林業における労働災害の発生状況

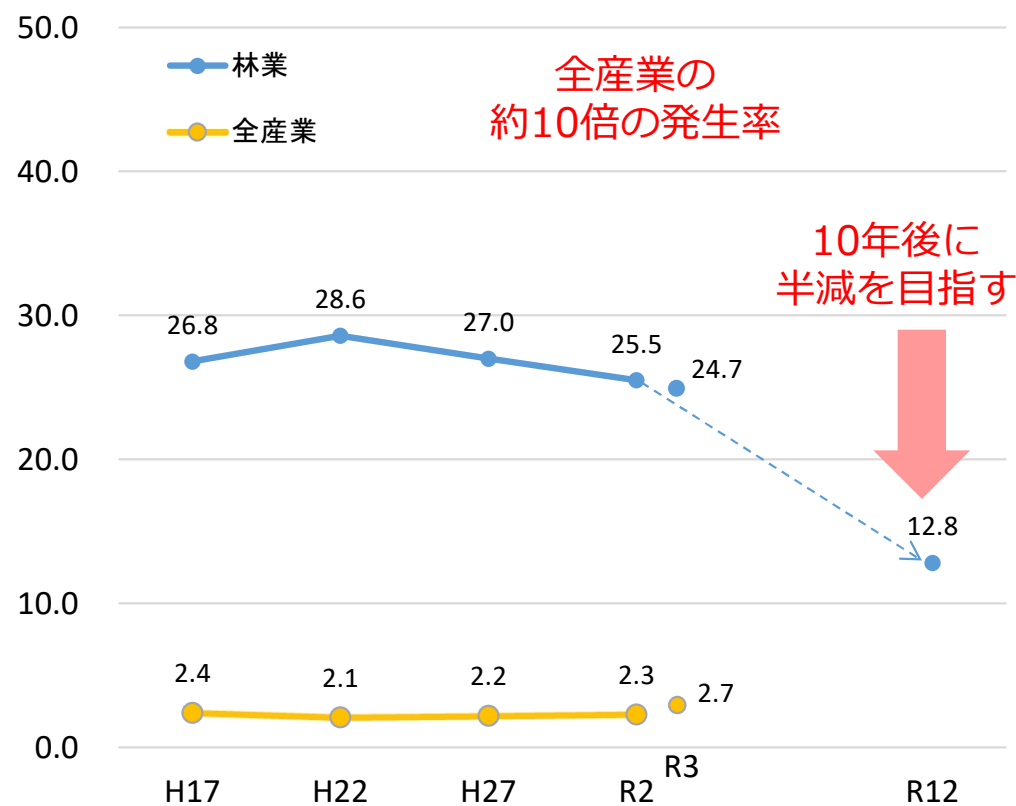
- 死傷災害は、約20年で4割程度まで減少しているものの、近年横ばい。
- 死亡災害は、減少傾向にあるものの、近年は横ばい。
- 死傷年千人率(労働災害の発生率)は、全産業の約10倍であり、全産業で最も高い値。

■ 林業の労働災害発生件数の推移



出典：労働者死傷病報告（厚生労働省）

■ 死傷年千人率の半減

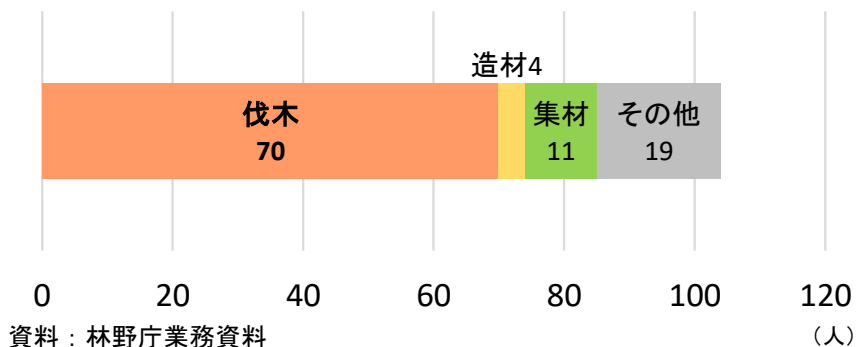


注：死傷年千人率とは、労働者千人当たり1年間に発生する死傷者数（休業4日以上）（厚生労働省）

林業の労働災害の特徴

- 死亡災害の約7割が伐木作業時に発生。
- 経験の少ない林業従事者に加え、ベテラン従事者も被災が増加。
- 小規模経営体の死傷災害件数が約半数を占める。

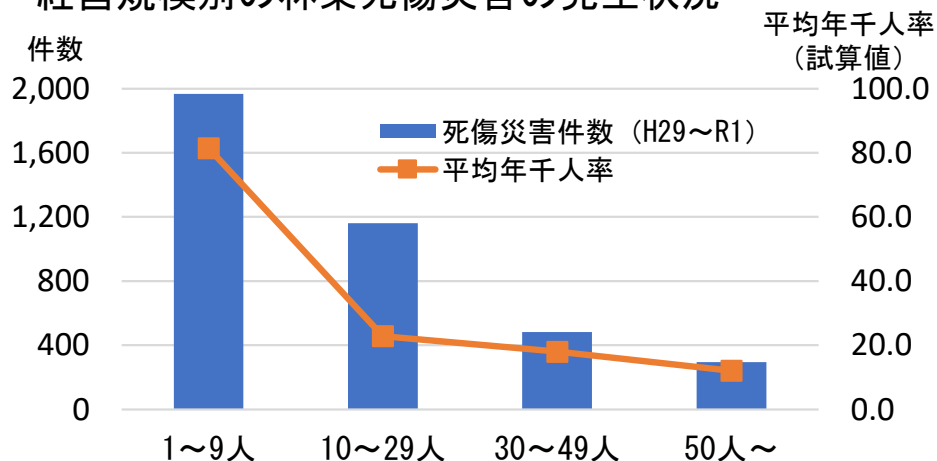
■ 作業別の林業死亡災害の発生件数



資料：林野庁業務資料

注：平成29年から令和元年の死亡災害104件について作業種ごとに分析

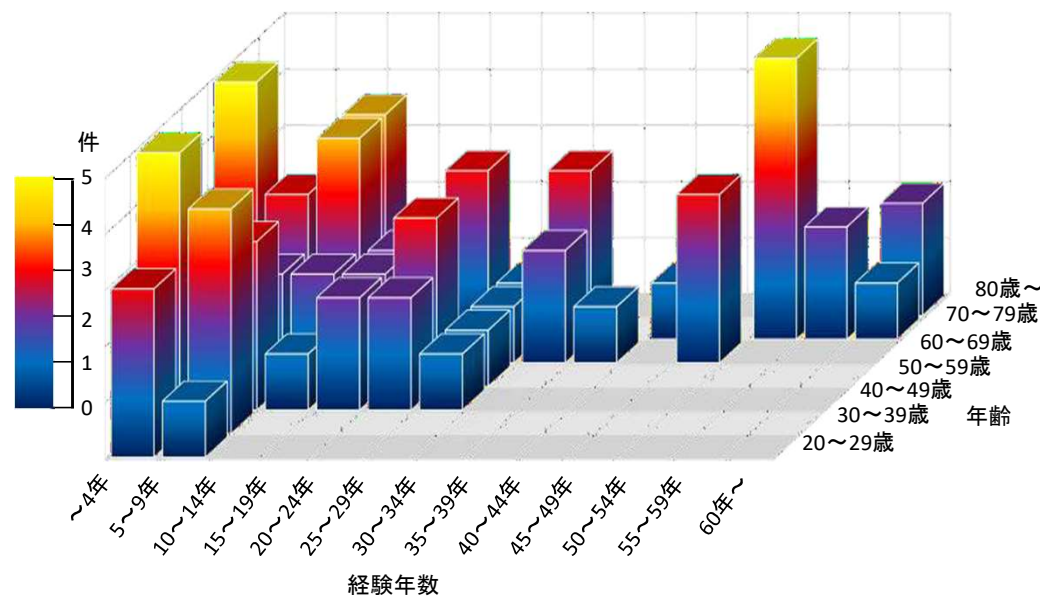
■ 経営規模別の林業死傷災害の発生状況



資料：農林水産省「新たな現場の作業安全対策の実現に向けた調査委託事業報告書」(令和2年度)を一部改変

注：平成29年から令和元年の死傷災害3904件について分析

■ 被災年齢と経験年数別の林業死亡災害の発生件数



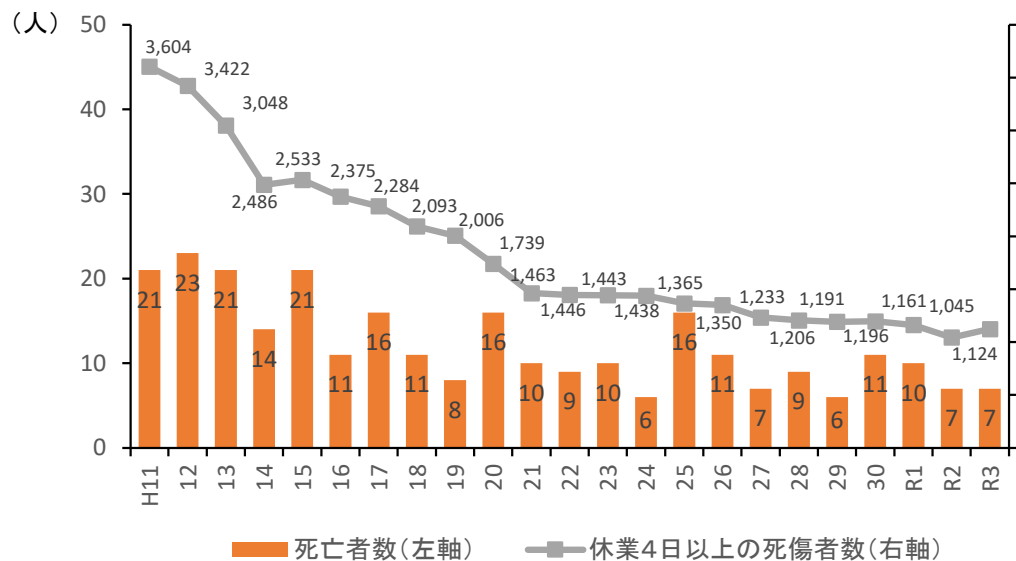
資料：農林水産省「新たな現場の作業安全対策の実現に向けた調査委託事業報告書」(令和2年度)
注：平成29年から令和元年までの死亡災害82件について分析

木材産業における労働災害の発生概要

- 木材・木製品製造業(家具を除く)の死亡災害と休業4日以上の死傷災害は、平成11年と比べて約7割減少しているが、近年は微減で推移。
- 死傷年千人率(労働災害の発生率)は、全産業と比較して約4.6倍。製造業全体と比較しても約4.3倍。

○ 木材産業における労働災害の発生状況

■ 死傷者数の推移



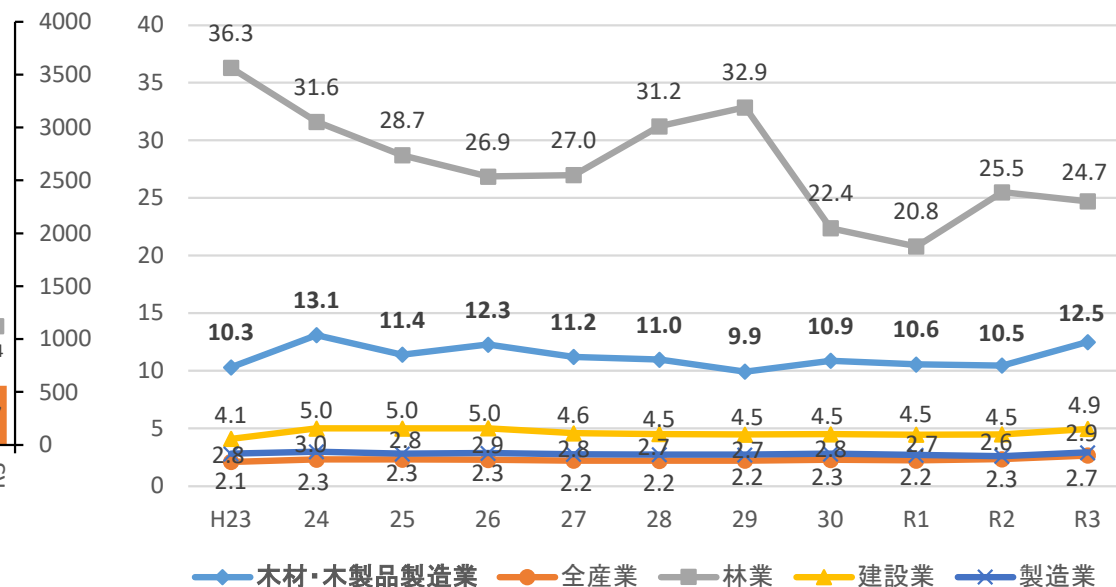
資料:厚生労働省「労働者死傷病報告」
注:H23年は東日本大震災を原因とするものを除く

■ 労災保険率(R3年度)

	木材・木製品製造業	林業	全産業
労災保険率	14/1000	60/1000	4.5/1000

資料:厚生労働省
注:労働保険料は賃金総額に労災保険率を乗じて得た額

■ 産業別死傷年千人率の推移



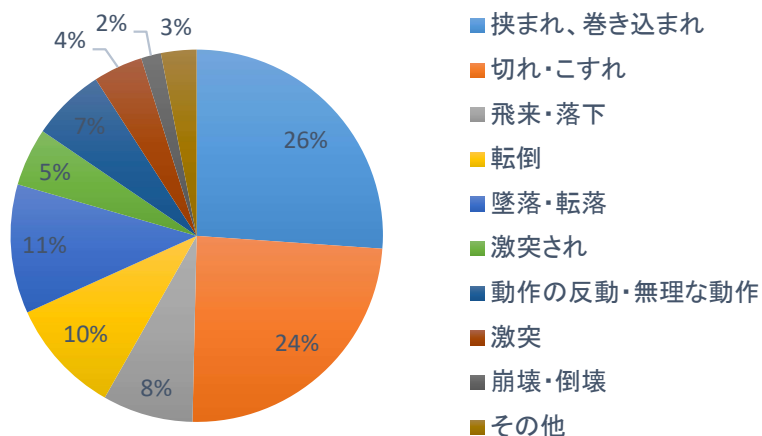
資料:厚生労働省「産業別死傷年千人率」
注:死傷年千人率とは、労働者1000人あたり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を示したもの。

労働災害の分析（木材・木製品製造業）

- 労働災害の傾向を分析すると、事故の型別の上位は「挟まれ、巻き込まれ」「きれ・こすれ」、起因別の上位は「木材加工用機械」、「材料」、「動力運搬機」となっており、他の製造業とは異なる傾向。
- これは、木材・木製品製造業が、木材を切削する機械を常時使用すること、重量物である木材を機械により搬送・移動することによる事故の傾向であると考えられる。

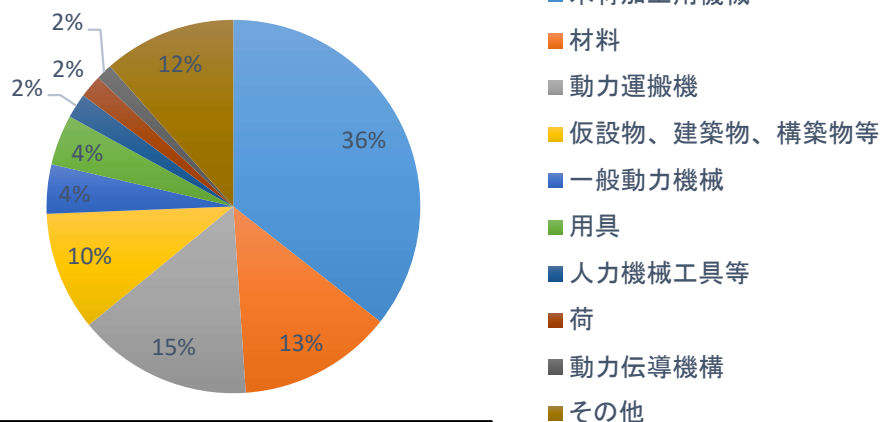
■ 事故の型別死傷者数 (H29～R3)

木材・木製品製造業

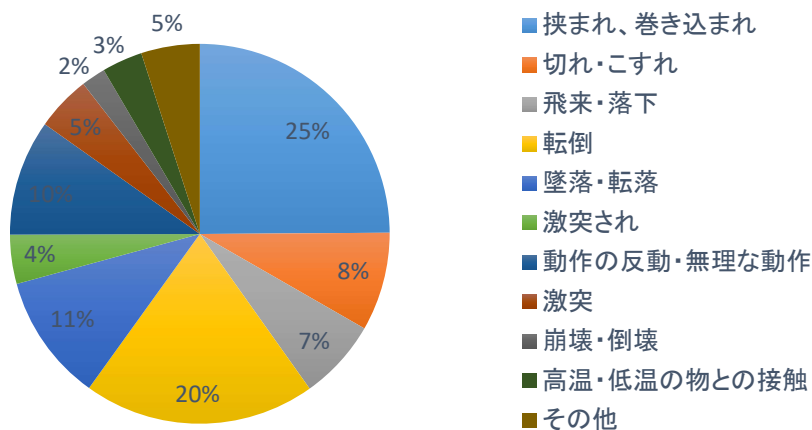


■ 起因別死傷者数 (H29～R3)

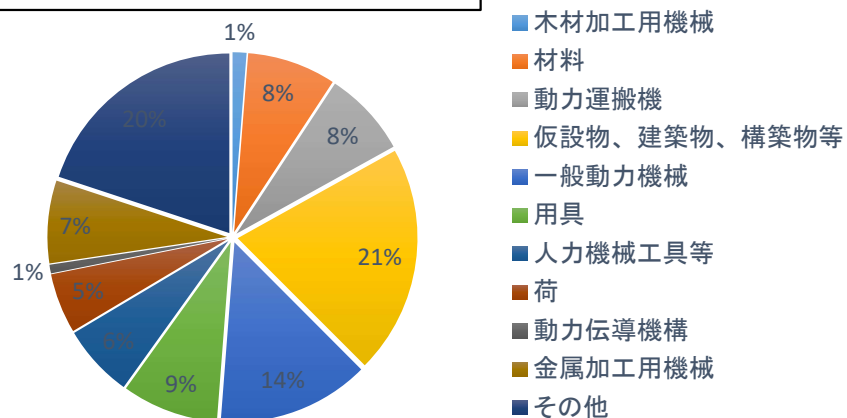
木材・木製品製造業



製造業（木材・木製品製造業を除く）



製造業（木材・木製品製造業を除く）

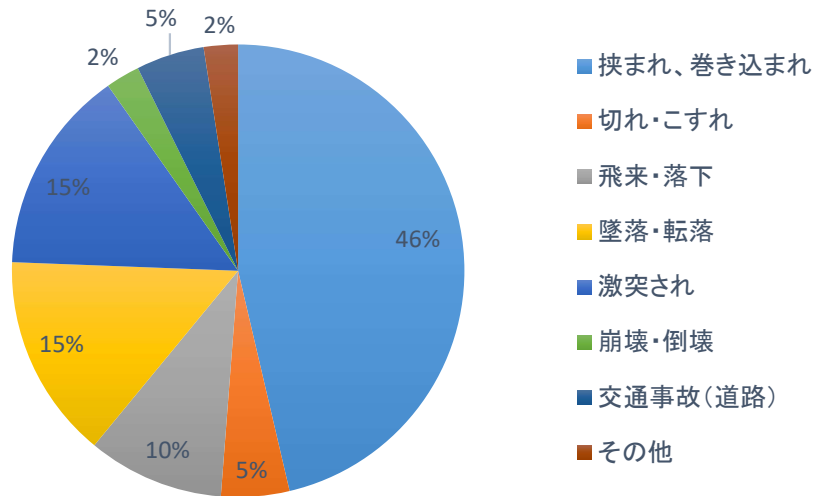


資料：厚生労働省「労働者死傷病報告」注：H23年は東日本大震災を原因とするものを除く

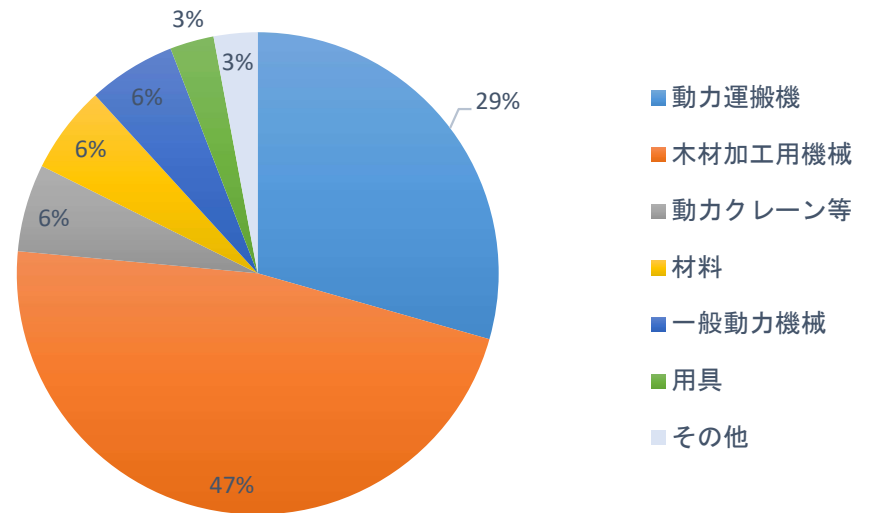
死亡災害の分析（木材・木製品製造業）

- 死亡災害を分析すると、事故の型別では「挟まれ、巻き込まれ」「墜落・転落」「激突され」が約8割起因別では「動力運搬」「木材加工用機械」が約8割。
- 事故の型別「挟まれ、巻き込まれ」「墜落・転落」を分析すると、機械のメンテナンス中や清掃中に被災するケースが過半を占めていることから、重点的な対策が必要。

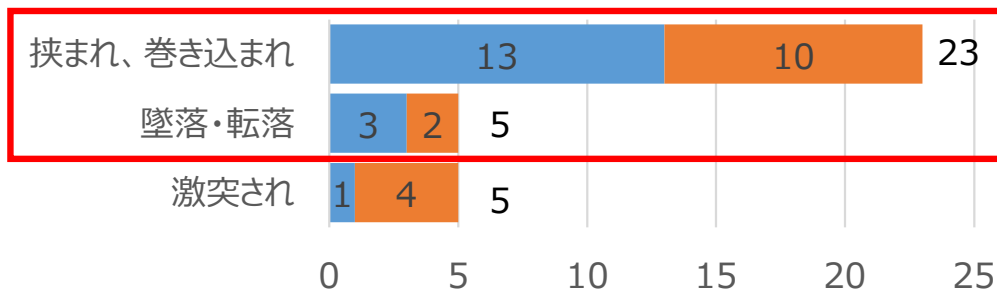
■ 事故の型別死亡者数 (H29～R3)



■ 起因別死亡者数 (H29～R3)



■ 「挟まれ、巻き込まれ」「墜落・転落」の機械のメンテナンス等の割合 (H28～R2)



非定常作業中が約6割

■ メンテナンス等
■ その他

年齢×経験年数別の事故発生状況（木材・木製品製造業）

- ・ 経験年数5年未満の作業員による事故発生件数が顕著に高い。経験年数が増すにつれて、事故発生件数は減少傾向に推移。
- ・ 最も事故発生件数の多い経験年数5年未満のグループの中にも、幅広い年齢層の作業員が含まれている。

■ R元年木材産業死亡・重篤事故 被災者年齢×経験年数別発生件数

